

2020年11月20日

和歌山県知事  
仁坂 吉伸 様

## 新型コロナウイルス感染症対策に関する申し入れ



日本共産党和歌山県議団  
団 長 奥村 規子  
幹事長 高田 由一  
楠本 文郎  
杉山 俊雄

新型コロナウイルス感染症の第3波となる急激な感染拡大はきわめて憂慮すべき事態となっています。日本共産党和歌山県議団として、以下のことについて申し入れます。

1. 今後の感染拡大に備え、医療機関へ配備した検査機器を十分活用するため県からの応援態勢を具体化されたい。また、必要な県保健所にPCR検査等の実施できる検査室の整備と機材の設置をされたい。臨時の人員体制も組まれたい。
2. 県が指定した診療・検査医療機関については市町村と情報共有すること。さらに、院内感染を防止するための取り組みへの十分な助成を行うとともに、経営への財政支援を行うこと。
3. 精神疾患のある方が新型コロナに感染した場合の受け入れ病院の体制を拡充されたい。また、県としての支援体制を作られたい。
4. 新型コロナ患者受け入れ施設だけでなく、受診・利用抑制などで収入減となったすべての医療機関・介護施設への減収補てんを国に求めるとともに、県独自の基準を設け支援すること。

5. 医療・介護従事者への特別勤務手当と慰労金の支給は、新型コロナ疑い患者に対応した場合も対象とすること。「新型コロナウイルス感染症に対応する医療従事者支援制度」は利用しやすいよう改善すること。
6. 地域医療構想における病床削減を停止し、方針を撤回すること。
7. 持続化給付金は一回限りとせず、事業が維持できるよう継続的支援を国に求めること。県の事業継続支援金や家賃支援金は、国制度への上乗せだけでなく、対象を大きく広げること。
8. 大学・専門学校等の学費一律半額免除と、高等教育機関のコロナ感染対策への財政支援強化を国に求めること。
9. 自己資金がないと受けられない文化補助金の改善を国に求めること。文化芸術活動が継続できるよう、さらに県独自で支援すること。

以上